

この説明書は、本剤とともに保管し、服用の際には、
よくお読みください。

解熱鎮痛薬

第2類医薬品

解熱鎮痛ケロチン



使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・
事故が起りやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたこと
がある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用
してせんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医 薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないでください

4. 長期間連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬 剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 授乳中の人は。

(4) 高齢者。

(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたこ
とがある人。

(7) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この
説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤
師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 ふ	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、 胸苦しさ等とともに、顔色が青 白くなり、手足が冷たくなり、冷 や汗、息苦しさ等があらわれる。

(裏面につづく)

皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、 火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。

ぜんそく

(2)5~6回服用しても症状がよくならない場合

[効能又は効果]

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2)悪寒・発熱時の解熱

[用法及び用量]

次の量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は、6時間以上おいてください。

年齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1包	1日2回を限度
15才未満の小児	服用しないこと	

〈用法及び用量に関する注意〉

- (1)定められた用法及び用量を厳守してください。

[有効成分及び分量(2包中)]

成 分	2包中
アスピリン	1,300mg
アセトアミノフェン	300mg
無水カフェイン	120mg

添加物としてケイヒ末、バレイショテンプンを含有します。

[保管及び取扱い上の注意]

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)配置期限(外装に記載)をすぎた製品は服用しないでください。

[お問い合わせ先]

本剤につきましてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

新新薬品工業株式会社 お客様相談室

TEL:(076)435-1166(代)

受付時間:午前9:00から午後5:00まで
(土、日、祝日を除く)

製造販売元 新新薬品工業株式会社

〒930-2221 富山県富山市今市324番地

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

55893 N・8H